

## **〔2〕多様な魅力を生かした 活力あふれるまち**

# (1) 観光の振興

## 目指す姿

多様な地域資源・価値に立脚し、オール熱海のおもてなしで、国内外からの多くの来遊客を迎え入れている。

## 関係するSDGs



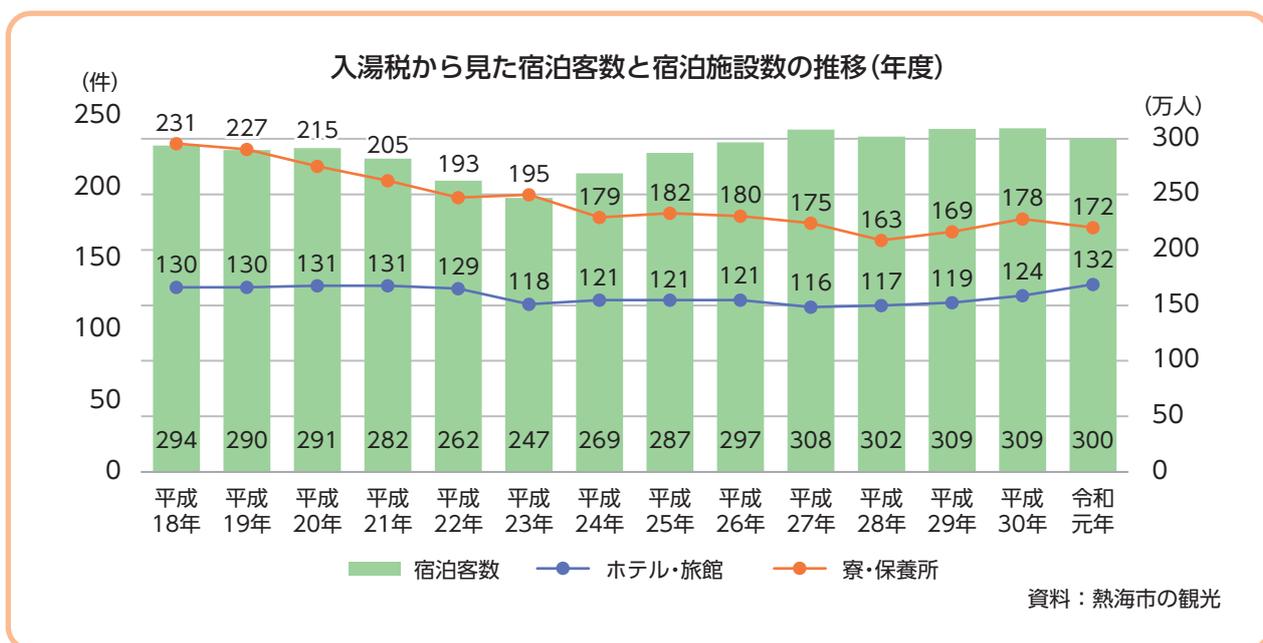
## 現状と課題

本市は、豊富な温泉と温暖な気候、海と山に囲まれた風光明媚な観光地として、首都圏からの立地も近く、交通網の発達とともに日本有数の温泉観光地として発展してきました。一方、交通網の発達は、国内外の他観光地との競争の激化にもつながり、立地による優位性は薄れ、平成期には東日本大震災後の平成23年度まで長い間減少傾向に歯止めがかかりませんでした。

その後は、官民一体でのプロモーションに取り組むとともに、メディアプロモーションの一定の成果もあり、平成27年度から宿泊客数は300万人まで回復するに至っています。しかしながら、依然として浮き沈みの激しい観光市場、厳しい国内外の観光地間競争の中にあり、プロモーションマーケティング（解説P.102）の体制をさらに強化するとともに、時代や市場ニーズにあわせながら常に変化し、観光地のトップランナーとして進化していくことが求められます。



## 関連データ



## 協働の取組

### 市民

- 観光資源の維持及び保全に努める。
- 旅行者に対するおもてなしの心を醸成する。
- 観光施策に対する関心と理解を深める。

### 観光関係団体

- 観光まちづくり事業に参画し、協力する。
- 各地区の地域資源を磨き上げ、相互連携する。
- イベントやプロモーション活動による誘客を行う。

### 観光事業者

- 観光関連団体・行政と連携したプロモーション活動を強化する。
- 旅行者ニーズに対応した施設整備とサービスを充実させる。
- 旅行者に対するおもてなしにさらに磨きをかける。
- 宿泊業等の競争力強化に向けて、生産性のさらなる向上に取り組む。

### 行政

- 旅行者ニーズの把握・分析と観光戦略・戦術を提示する。
- 全市的なプロモーション活動を実施するとともに各地区での取組を補完する。
- 広域観光組織、交通事業者等民間組織との連携を図る。

## 主な事業

- ICT(解説P.93)の活用も視野に入れた観光ブランドプロモーション、メディアプロモーションの実施
- 市民団体による観光まちづくり事業への支援
- ライトアップ等によるナイトスポットの整備
- 観光地域づくり組織(熱海型DMO(解説P.93))の構築と観光への活用を目的とした財源の確保
- 広域・地域連携による回遊促進施策の実施
- 観光施設等が実施する外国人観光客受入環境整備事業への支援
- 観光ニーズ等に対する調査・分析、観光統計の整備

## 指標と目標値

指 標	現状値	目指す値	指標の説明
宿泊客数	R 1	R 7	観光ブランドプロモーションの充実等により年間の宿泊客数の増加を目指します。
	3,002,800人	3,250,000人	
観光消費額	H 30	R 7	プロモーションマーケティング体制の強化により観光消費額の増加を目指します。
	918.9億円	930.0億円	
市民満足度	R 1	R 7	観光に関する市の施策について市民の理解を得るための広報などを行うことで市の観光施策に対する市民の満足度の向上を目指します。
	—	70%	

## 行政の5年間の主な取組

### 市民・地域活動等・事業者に対する支援

- 市内外の人との交流やメディアへの露出を通じて、市民が誇りと愛着を持てる温泉観光地づくりに取り組む。
- 新しい観光と地域づくりの観点から市民団体が自ら取り組む地域の個性や特徴を生かした魅力あるまちづくり事業を支援する。
- 各地区の地域資源を磨き上げるとともに、各地区観光協会等が行うプロモーションやイベント・おもてなしの取組を支援する。
- 観光施設・観光事業者が行うプロモーションを補完する事業を行うとともに、ナイトスポットの整備など新しい賑わいを創出することにより相乗効果の出る支援策に取り組む。

### 行政が主体的に実施する取組

- 観光地経営の舵取り役となる官民連携体制の構築を進める。
- 観光ブランドプロモーション(解説P.97)及びメディアプロモーションを充実・強化する。
- 桜、ジャカラングなどのライトアップや花火等による夜の賑わい創出に努める。
- 各地区観光協会等と協力しつつ市内全域への旅行者回遊施策に取り組む。
- TSJ(解説P.94)など広域組織と連携したインバウンド(解説P.97)プロモーションに取り組むとともに、Wi-Fi環境の整備や電子マネーの導入を促進するなど、外国人観光客受入環境整備の促進に努める。
- 観光統計・指標の整備を行うことで、客観的な事業評価の仕組みを構築する。

## (2) 商工業の振興

### 目指す姿

経済の持続可能な発展を実現し、中小企業をはじめとする地域経済を支える事業者が成長することにより、商工業が活性化している。

### 関係するSDGs



### 現状と課題

本市の産業は宿泊業を中心に、地域資源の活用を図ることにより成長しつつ、サービス産業の多様性を生み出し、その特色を生かしながら、地域の発展に寄与してきました。

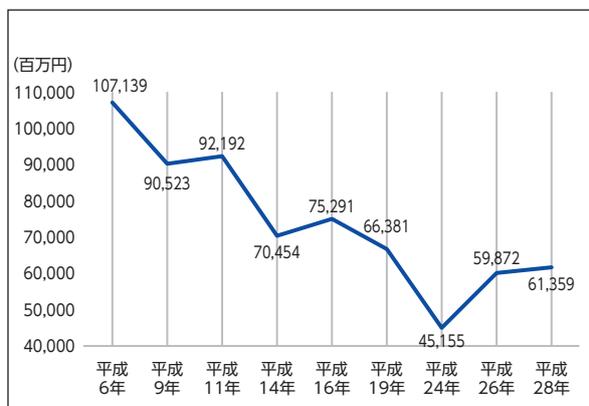
しかし、近年は人材の確保や後継者育成、商品・サービスの販路拡大等の分野において多くの課題を抱えています。

今後、地域の事業者の発展と成長を促し、経済の活性化を図るためには、中小企業をはじめとする個店の魅力向上、消費者ニーズにあった販路の拡大、新たな取組を行おうとする経営者及び後継者の育成、ICT(解説P.93)の有効活用等、時代に即した経営意識への転換が求められています。



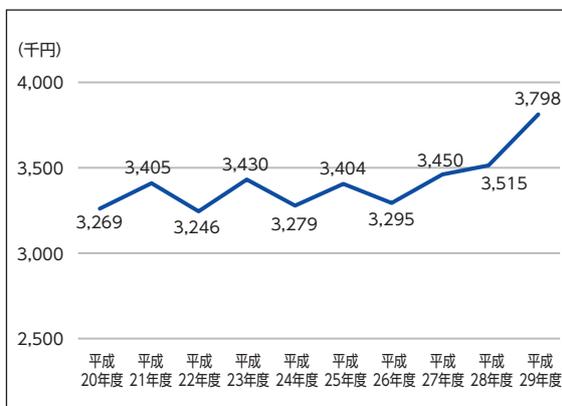
### 関連データ

年間商品販売額(小売・卸売業)



資料：商業統計調査・経済センサス活動調査

1人当たりの市内総生産



資料：しずおかけんの地域経済計算・住民基本台帳

## 協働の取組

### 市民

- 熱海の商品・サービスを積極的に購入し、市内消費拡大に携わるよう努める。
- 地域商業の魅力と活力づくりのため、市内への通勤者も生活者として参画・協働に努める。

### 地域活動等

- 観光交流客や市民交流の場となる魅力ある商店街づくりに努める。
- 地域の魅力ある商品・サービスを内外に情報発信する。

### 事業者

- 経営改善などに努め、生産性の向上、売上額の増加を図る。
- 原材料などの地元調達率の向上に取り組むとともに付加価値のある商品づくりに努める。
- 地域の商品・サービスの域外での販売促進に努める。

### 行政

- 熱海の商品・サービスを広く宣伝する。
- 個々の事業者の魅力を高めるために、アドバイザーを活用し支援する。
- 持続可能な事業環境を維持するため資金面・制度面で支援する。

## 主な事業

- 市民・観光交流客等のニーズにあわせた買い物環境の整備
- 地域の特色を生かした魅力ある商店街空間の創出
- A-biz(解説P.93)による個店支援強化及び事業者間マッチングの推進
- 熱海商工会議所などの関係機関と連携し、事業承継に関する情報の提供及び相談体制の構築

## 指標と目標値

指標	現状値		目指す値		指標の説明
市内小売・飲食・サービス業の法人市民税申告額(市内本店事業所分)	R 1		R 7		多様な消費者層のニーズに対応した、魅力ある商品づくりや販路拡大を支援することで、法人市民税申告額の増加を目指します。
	卸売・小売業	29,629千円	卸売・小売業	36,398千円	
	飲食店、宿泊業	28,839千円	飲食店、宿泊業	35,428千円	
	その他サービス業	17,064千円	その他サービス業	20,962千円	
事業承継支援数(累計)	R 1		R 7		事業承継に対する相談体制の構築により、令和7年度までに10件を目指します。
	-		10件		
A-biz相談数	R 1		R 7		市内事業者の売上増加に向けたアドバイスなど、令和7年度までに1,150件を目指します。
	1,066件		1,150件		

## 行政の5年間の主な取組

### 市民・地域活動等・事業者に対する支援

- 市民等のニーズにあった買い物情報の提供、移動販売、通信販売機能の強化に取り組む。
- 地域の特性を生かしつつ、買い物・交流・生活の場としての機能を備え、利便性が高く、魅力的で活気のある商店街を形成し、集客力の向上を図る。
- 特に個人商店においては、後継者不足が顕著となっており、事業承継支援など、歴史とブランド力のある商店を長く残していくための仕組みを構築する。
- 地場産品など市内・近隣との協力により地元調達率の高い新商品開発を促すため、異業種の交流・連携の場を提供する。
- ICTの活用による商取引など、その有効活用に努める。

### 行政が主体的に実施する取組

- ICT化推進や生産性向上施策など、国、県制度等の積極的な導入支援に努める。
- 熱海商工会議所などの関係機関と連携し、事業者に対する相談・アドバイス業務の充実に努め、魅力ある個店づくりを支援する。
- 付加価値の高い商品・サービスの販路を拡大するため、商品の魅力を最大限アピールする情報発信手法や広域的な連携の仕組みを構築する。

## (3) 起業・創業の支援と雇用の創出

### 目指す姿

地域資源の活用と循環、地域課題の解決等を通じた熱海独自のビジネスモデル(解説P.102)が多数生まれ、誰もがやりがいと充実感を感じて働き、活躍できる環境が整っている。

### 関係するSDGs



### 現状と課題

少子高齢化の進行とともに、人口減少が続く中、本市の持続可能な経済発展の促進や市内への定住につながる関係性を築き、生産性の向上、労働力不足の解消、また、仕事と生活の両立が図られ、やりがいや充実感を持って働き、誰もが地域の中で活躍できる環境が求められています。

様々な要因で急速に社会が変化している中、新たな都市経営課題も発生しており、熱海に関わる人が参画し、地域資源を活用した民間主導・地域主導のプロジェクトを推進して、様々な課題を同時に解決していく必要があります。増加傾向にある市内の遊休不動産の活用や人材のリノベーション(解説P.103)を行うことで、サテライトオフィス(解説P.99)の誘致やワーケーション(解説P.103)などを推進し、新たな働き方への変化を促すことで、熱海に関わる多くの方が活躍できる産業構造への転換を目指していきます。

### 関連データ

熱海市の有効求人倍率

平成29年度	平成30年度	令和元年度
2.20	2.45	2.23

資料：ハローワーク三島

中心市街地空き店舗状況

エリア	物件数	空き店舗数(件)		空き店舗率(%)	
		2015年	2019年	2015年	2019年
咲見町	33	11	21	33.3	63.6
銀座町	173	33	40	19.1	23.1
中央町	243	32	47	13.2	19.3
渚町	183	52	64	28.4	35.0

資料：2019 中心市街地リノベーションまちづくり推進業務  
【③エリアのポテンシャル物件調査】

## 協働の取組

### 市民

- 年齢や性別に関わらず、働き、活躍することの意義や可能性を考える。
- 仕事と生活の両立、やりがいや充実感を持った働き方を意識する。

### 地域活動等

- 地域課題を解決するコミュニティビジネス(解説P.99)を活用し支援する。
- 地域資源を再認識し、生かすとともに、広く情報を発信する。

### 事業者

- 様々な働き方を受け入れる体制をつくる。
- 地域での幅広い人材活用に配慮する。
- 地域の産業や仕事を、次世代を担う子どもたちに伝える。

### 行政

- リノベーションまちづくりの推進と、地域資源の活用や熱海での挑戦をサポートできる体制をつくる。
- 関係機関と連携し、ワークライフバランス(解説P.103)の充実が図られるよう啓発を行う。
- ICT(解説P.93)を活用した労働環境・雇用問題を解決するシステム構築に取り組む。
- 女性、高齢者、障がい者、外国人など多様な人材の活躍の場の確保や、副業、複業などの多彩な働き方など流動的な労働環境の構築を図る。

## 主な事業

- リノベーションまちづくりの推進により、ローカルビジネス(解説P.103)、地域課題解決型ビジネス(解説P.100)などの起業や、ICTを活用した労働環境の効率化・改善
- A-biz(解説P.93)による伴走型支援の充実
- ハローワークと連携して、雇用情勢の改善や地元企業の人材確保に向けた施策を実施
- 都市経営課題と地域資源活用事例の把握及び内外に対する情報発信

## 指標と目標値

指標	現状値	目指す値	指標の説明
A-bizの伴走型支援による創業及び新分野進出数	R 1	R 7	新たに熱海でチャレンジする起業家を支援し、令和7年度に10件の創業及び新分野進出を目指します。
	9件	10件	
市内従業者数(事業所単位)	H28	R 7	多様な働き方の提供、暮らし方の提案を行うことで、市内従業者数の増加を目指します。
	19,637人	20,000人	

## 行政の5年間の主な取組

### 市民・地域活動等・事業者に対する支援

- 熱海で生まれ育った若者が定着し、高齢者や障がい者、再就職を目指す女性など地域で働く意欲のある人が就労でき、誰もが安心して活躍できる労働環境づくりを推進する。
- リノベーションまちづくりを進めることで、地域資源とそれを活用する創業希望者とのマッチングを推進し、まちの賑わいの創出を図る。
- 雇用・人材育成の面から地域に長く根差す事業へのサポートを充実させる。

### 行政が主体的に実施する取組

- 教育・福祉分野との協力により、地元産業への理解を持った人材の育成を図り、多様な人材と事業者とをマッチングする。
- 多様な働き方・暮らし方の提案とそれを実践する人を支援する。
- ワークライフバランスの周知、働き方や働き方の啓発に努める。
- 目まぐるしく変化する社会に対応するため、都市経営意識の高揚を図り、公民連携のマインドを持った職員を育成する。



## (4) 農林水産業の振興

### 目指す姿

農地・林地の保全と有効活用及び水産資源の保護、育成が行われ、担い手の育つ魅力的な環境が整っている。

### 関係するSDGs



### 現状と課題

本市の全産業における農業・林業・水産業の第1次産業の就業者は1.6%と低い割合となっています。

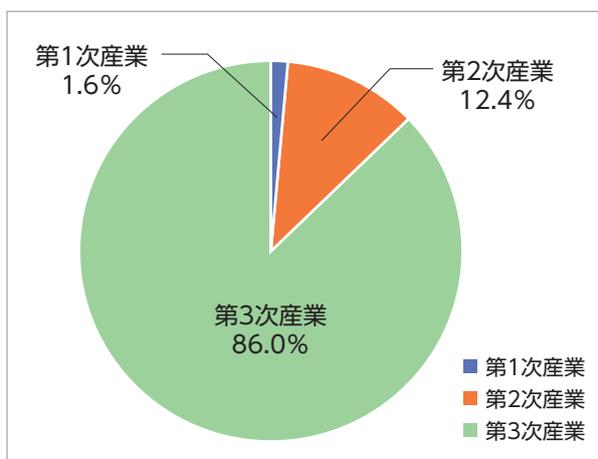
農業については、従事者の高齢化、担い手の不足による耕作放棄地の増加や有害鳥獣による農作物への被害も深刻化しており、農業者の生産意欲の減退につながっています。新たな担い手の確保や耕作放棄地の有効活用などを進め、農業の振興と農地の保全を図ることが求められています。

林業については、従事者がほとんどいないことから森林所有者が適切な管理を行っておらず、今後、放置林の整備が必要となっています。

水産業については、農業同様に従事者の高齢化、担い手の減少、また、世界的な地球温暖化や乱獲により漁獲量が減少していることから安定した漁獲量を確保していくことが求められています。

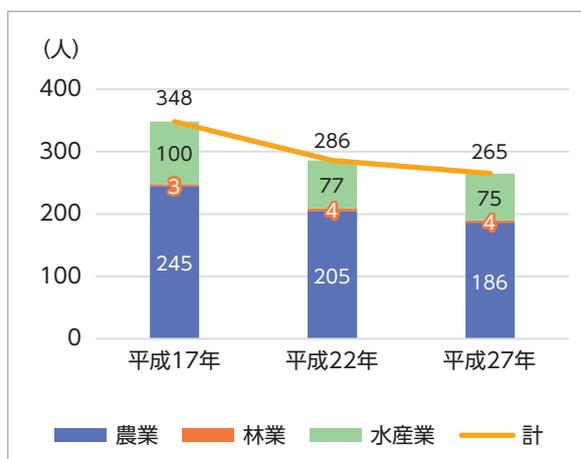
### 関連データ

平成27年産業別就業者割合



資料：国勢調査

1次産業就業人口の推移



資料：国勢調査

## 協働の取組

### 市民

- 自らが所有する森林、農地について、間伐を行うなどの適切な管理に努める。
- 農水産物の地産地消に努める。

### 地域活動等

- 農地などの保全活動に関する理解を深める。

### 事業者

- 所有農地、所有森林の管理に努める。
- 地元特産品の生産促進と情報発信、新たな活用の検討、販路の開拓に努める。
- 子どもたちを対象に農林水産業に触れあう機会を設ける。
- 第1次産業の新たな担い手のための活動支援に努める。
- 農水産物について第3次産業事業者は地消に、生産者はニーズにあった地産に努める。

### 行政

- 農業への新規参入者の確保に努める。
- 関係機関と連携した鳥獣被害防止対策に努める。
- 農林水産業に関するインフラの維持管理に努める。
- 災害防止等の観点から森林の荒廃防止対策に努める。
- 水産資源の保護、育成に努める。

## 主な事業

- 新規就農者に対する情報提供、活動支援及び助成の実施
- 適切な森林環境維持に向けた情報把握及び発信
- 追い払い等の鳥獣被害防止対策事業及び電気柵等の自衛対策助成の実施
- たい、ひらめの稚魚やあわびの稚貝、わかめ種苗等の放流への助成の実施

## 指標と目標値

指 標	現状値	目指す値	指標の説明
第1次産業従事者人口	H27	R 7	第1次産業従事者人口を令和7年度までに1%の増加を目指します。
	265人	267人	
認定新規就農者数	R 1	R 7	新たに農業に参入する認定新規就農者数を令和7年度までに2人の増加を目指します。
	2人	4人	
農地への鳥獣被害面積	R 1	R 7	鳥獣被害のあった面積を令和7年度までに20%の減少を目指します。
	895a	720a	

## 行政の5年間の主な取組

### 市民・地域活動等・事業者に対する支援

- 農地、森林の適切な管理を行うための状況把握と活動支援に取り組む。
- ダイダイ等の地元特産品のPR、販路拡大等に取り組む。

### 行政が主体的に実施する取組

- 新規農業者の参入を促すことにより担い手の確保、耕作放棄地の拡大防止に取り組む。
- 鳥獣被害防止対策を実施して、農業被害の拡大防止に取り組む。
- 農道、林道、初島漁港を適切に維持管理し、生産者等の利便性の確保に取り組む。
- 森林の荒廃防止対策を進めるため、所在場所、所有者情報等の把握及び自伐型林業(解説P.100)支援に取り組む。
- 稚魚や稚貝、種苗放流を実施して、水産資源の維持に取り組む。

